

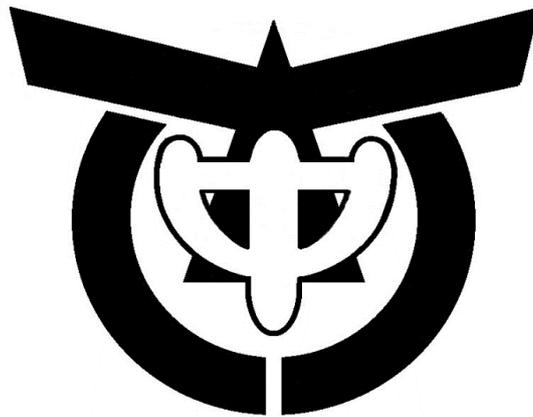
令和元年度 銚田南中学校

家庭学習の手引き

「継続は力なり」



～学力アップと進路実現を目指して～



	平 日
学習開始時刻	(:)
終了時刻	(:)
就寝時刻	(:)
起床時刻	(:)

	休 日
学習開始時刻	(:)
終了時刻	(:)
就寝時刻	(:)
起床時刻	(:)

年 組 氏名

1 手引きの使い方

- 自分の目標を書き込んだ手引きを手元におき、目標を意識して学習に取り組みましょう。
- 各教科、自分の能力に合わせて、「初級」・「中級」・「上級」を選択して取り組みましょう。
- 自分なりの学習の仕方を、手引きに書き込みながら取り組みましょう。

2 授業との関わり

- 『予習』をして、分からないことや知りたいことを明確にして、授業に臨みましょう。
- 『復習』をして、授業内容の理解を確認し、疑問は次の授業で質問して解決しましょう。

3 6つのポイント

- 毎日机に向かうこと（習慣をつける）
- 目標を立てること（達成できる目標：時間の目標・内容の目標・点数の目標）
- 計画を立てること（内容を決める → 身に付く → 差がつく）
- ノートを作ること（ページを重ねていくことで、「やった」という実感がわく→やる気が出る）
- 環境を整えること（机の上や周囲を整理・整頓→落ち着いて、集中して学習できる）

4 規則正しい生活

- 朝食を必ず食べましょう。
- 睡眠時間を確保しましょう。
- 学習時間を決めましょう。

学年の目標時間	
平日	休日
分	分

5 目標を決めよう！

家庭学習の目標					
目標時間					
平日			休日		
分			分		
目標点数					
英語	国語	数学	社会	理科	合計
点	点	点	点	点	点

【英語科】

楽しくて効果的な英語の家庭学習法



<学習の仕方>

- 予習よりも復習に力を入れましょう。
- 授業中は元気よく発音し、英語の読み方を覚え、家で一人でも読めるようにしましょう。
※ 読めない単語はなかなか覚えられません。教科書に出てきた英語は全て読めるように。
- 教科書の太字の単語は書けるようにしましょう。自主学习ノートにたくさん書こう！
- ワークを定期的に進め、新しい文型を使いこなせるようになろう。

【初級編】 ★ ——— ★ ——— ★ ——— ★ ——— ★

『予習』

- ・教科書に目を通し、読み方が分からない単語に線を引いておきましょう。

『復習』

(1) 教科書音読

意味や場面をイメージしながら。英語力アップの基本は音読です。

(2) 朗読

英文の場面や情報を頭に描きながら、誰かに伝えるように、心を込めて読みましょう。

(3) リピーティング (Repeating) ※書店で教科書のCDを購入した人

英文を1文聞いたら一時停止し、ものまねするように発音しましょう。

(4) シャドーイング (Shadowing) ※書店で教科書のCDを購入した人

- ① 英文は流しっぱなしで、0.5秒くらい遅れながら読みましょう。
- ② 何も見ないで、聞こえてきた音声だけを頼りにまねをして言いましょう。

(5) 単語や重要文の練習

教科書の太字の単語と Basic Dialog の太字の文をノートに何回も書いて覚えましょう。

(6) ポイントまとめ学習

授業のノートや教科書、ワーク、プリントなどで重要だと思われるところを抜き出し、自主学习用ノートにまとめ直しましょう。

(7) ワークで基礎基本の定着

ワークの左側のページの基本問題だけをノートにやってみましょう。

【中級編】 ★ ——— ★ ——— ★ ——— ★ ——— ★

『予習』

- ・教科書に目を通し、読み方が分からない単語に線を引いておきましょう。

『復習』

(1) 速音読

教科書の英文を1分間でどこまで読めるか挑戦しましょう。自己ベスト更新を目指しましょう！ネイティブは1分で150語を話します。早く読めるとリスニング力もアップします！

(2) 通訳読み

- ① 教科書の英文を1文ずつ見て、日本語で言いましょう。
- ② 教科書の日本語訳を見て、英語で言いましょう。

※ テスト前にはこれ！単語も文法もチェックできる訓練だ！

(3) リピーティング (Repeating) ※書店で教科書のCDを購入した人

英文を1文聞いたら一時停止し、ものまねするように発音しましょう。

(4) シャドーイング (Shadowing) ※書店で教科書のCDを購入した人

- ① 英文は流しっぱなし。0.5秒くらい遅れながら読んでいきましょう。
- ② 何も見ないで、聞こえてきた音声だけを頼りにまねをして読みましょう。

(5) **単語や重要文の練習**

教科書の重要な単語と Basic Dialog の文をノートに何回も書いて覚えましょう。

(6) **ポイントまとめ学習**

授業用ノートや教科書、ワーク、プリントなどで重要だと思うところを抜き出し、自主学習用ノートにまとめ直しましょう。

(7) **ワークで基礎固め**

ワークの問題を自主学習ノートに解いてみましょう。

(8) **パターン練習**

習った英文の一部（英単語）を変えて、おもしろい文や自分に関係する文に変えてみましょう。

(例) Japan is the most beautiful country in the world.

→Ayase Haruka is the most beautiful woman in Japan.

【上級編】 ★ ————— ★ ————— ★ ————— ★ ————— ★

『予習』

・教科書に目を通し、読み方が分からない単語に線を引いておきましょう。

『復習』

(1) **通訳読み**

① 教科書の英文を1文ずつ見て、日本語で言う。次の英文も同じように繰り返しましょう。

② 教科書の日本語訳を見て、英語で言いましょ。

※テスト前にはこれ！単語も文法もチェックできる訓練だ！

(2) **アナウンサー読み (Read and Look Up)** ※書店で教科書のCDを購入した人

1つの英文を2回読みましょう。1回目は教科書を見て。2回目は英文を見ずにやってみよう。

※テレビの中のアナウンサーになったつもりで。感情を込めて、表情も豊かに。

(3) **シャドーイング (Shadowing)** ※書店で教科書のCDを購入した人

① 英文は流しっぱなしで。0.5秒くらい遅れながら読みましょう。

② 何も見ないで。聞こえてきた音声だけを頼りにまねをして読みましょう。

(4) **オーバーラッピング (Overlapping)** ※書店で教科書のCDを購入した人

CDと同時に、自分の声を重ねながら、まねをして読みましょう。

(5) **単語や重要文の練習**

教科書の本文を1文読んで暗記し、ノートにその文を書きましょう。

(6) **ワークで基礎固め**

ワークの問題を自主学習ノートに解いてみましょう。

(7) **自己表現**

① 習った英語や辞書に載っている英語を使って、自分のことや友だち、家族のことなどを自由に書いてみましょう。

・英語で日記 ・英語で好きなものを紹介 ・英語で日本紹介 ・英語で4コマ漫画
・英語で新聞 ・英語でツイッターやfacebookに書くとしたら ・英語で手紙 など。

※ 必ず英語の先生か英語が得意な人にチェックをしてもらいましょう。

これらの方法を試してみてもうまくいかなかったり、勉強をしたいのにやり方が分からなかったりしたときは、英語の先生に勉強方法を聞いてみよう！

英語は世界で一番多く使われている言語。少しでもできるようになったら、外国人と関わることがもっと楽しくなるよ。

Keep studying English hard! Enjoy studying English! English is very interesting!!



【国語科】

○ 言葉は力なり

国語科の学習において、言葉をより多くの言葉を知っている・使えることは大切なことです。言葉は書いてあることを理解することにも、自分の考えを表現することにもつながります。

そのため、国語科の家庭学習では、**言葉を知る、使い方を知る、使いこなす**を念頭に置くとよいと思います。

○ 「慣れる」ことが秘訣

国語という教科の特性上、同じ文章と出会うことはほとんどありません。

国語の力＝初めて出会う文章をどう読み解くかということになります。

つまり、読むときのポイントや注目するところを理解して、文章を読み慣れることが大切です。

＜家庭学習の取組例＞

【初級】

漢字の読み書きや文法の使い方などをノートに書きましょう。

【中級】

例文を用いて、漢字の読み書きや文法をノートに書きましょう。

【上級】

例文を用いて、漢字の読み書きや文法を復習することに加えて、類義語や対義語、同じ働きをする言葉など、関連する言葉を書き込みましょう。



＜学習のポイント＞

上記にも述べましたが、国語科において言葉は力です。段階に応じて、自分の言葉の引き出しを増やすことがポイントです。

「知っている」→「使える」→「関連する言葉も一緒に出てくる」というように、レベルアップを図りましょう。

言葉という括りと言う意味では、**古典作品を読んで歴史的仮名遣いについて復習することも効果的**です。歴史的仮名遣いを正しく、現代仮名遣いに直せるようにしましょう。また、古典特有の言葉の意味を知っておくことも必要なことです。

ワークや問題集などの、問題に挑戦して、読むことに慣れることも大切です。初めて出会う文章問題と仲良くなる（読める・解ける）ようになるには、多くの文章に触れることが不可欠です。

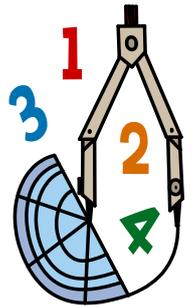
漢字は当該学年のものは読めるように、下学年までの漢字は書けるようにしておきましょう。

【数学科】



【初級編】

- ① 授業ノートを確認しながら、
授業で学習した問題の解き方をノートにまとめましょう。
- ② ワークやレスキューの問題をノートに写して解いてみましょう
※ ワークだったら A 問題を中心にノートにやってみよう。
※ どうしても分からない問題は解答を見て、解き方を理解しましょう。
しかし、解き方をただ写すのではなく、
解き方を理解し、自分の力でできるまで取り組みましょう。



【中級編】

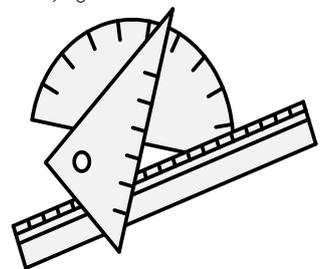
- ① 授業ノートや教科書を確認しながら、
家庭学習ノートに解き方をまとめたり、問題を解いたりしてみましょう。
- ② ワークやレスキューの問題を家庭学習ノートに写して解いてみましょう。
※ ワークだったら A や B 問題を中心にノートにやってみましょう。

【上級編】

- ① ワークやレスキューの問題を家庭学習ノートに写して解いてみましょう。
※ ワークだったら B や C 問題を中心にノートにやってみましょう。
- ② 自分で参考書や問題集を購入し、ノートに解いていきましょう。

☆ 毎日1ページでもいいので継続して取り組むことが大切です。

もし分からないところがあれば、
先生や友達に聞いて、必ず解決しましょう。



☆ 次のことに気を付けて学習しよう。

- ・問題・式・計算・答えをかき、自分の考え方がわかるようにしましょう。
- ・絵・図・表・グラフをかいて、分かることを書き入れていきましょう。
- ・間違えたところは赤で直し、どこが間違えたかが分かるようにしましょう。

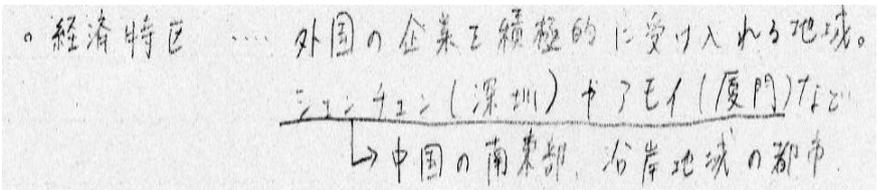
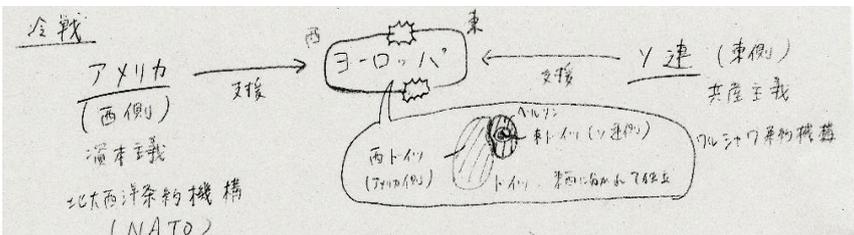
【 社会科 】

社会科は、
過去から現在までの「つながり」、
日本や世界の人々の「つながり」、
現代社会と私たちの「つながり」について学ぶ教科です。



授業では、地図や写真，グラフ，表から読み取り，比較したり統合したりしながら，
「なぜ」，「どうして」を解決していきます。

① 予習(家庭=個人で, 見通しをもつ)

初級	教科書を読んで，重要語句をマークしましょう。
中級	教科書の重要語句について調べ，ノートにまとめましょう。 
上級	教科書の内容を，図や矢印，年表，地図などを使って，ノートにまとめましょう。 



③ 復習(家庭=個人で, 振り返る)

初級	テスト前に1回，提出用ワークノートに，ワークの問題を解きましょう。
中級	テスト前に2回，提出用ワークノートとワーク本誌に，ワークの問題を解きましょう。
上級	テスト前に3回以上，提出用ワークノートとワーク本誌，さらに，自主学習ノートに，ワークの問題を解きましょう。 友人や家の人に，ワークの問題を出題し， <u>解説</u> しよう。

【理科】

鋒田南中の明日の授業が楽しくなる理科の家庭学習方法



1 共通の学習方法

『復習』

- (1) 復習を大切にします。教科書とノートに目を通し、その日学んだことが理解できたかをチェックしましょう。そして、新しく出てきた言葉があれば、その意味を理解しましょう。(重要語句は、教科書では太字になっています。)
- (2) 実験の操作等で注意すること、器具の使い方をチェックしておきましょう。
- (3) 公式や計算問題が出たときには、練習問題をやりましょう。
- (4) 理科のワークに進んで取り組み、分からなかったこと、理解できなかった計算問題等は理解できるように、先生や友達に質問しましょう。
- (5) NHK for school 等のインターネットで、おもしろい動画がたくさん見られます。環境が整っていれば活用してみましょう。

『予習』

- (1) 事前に、教科書を読んでおきましょう。
- (2) 実験や観察・実習などの前日は、実験のねらい・方法を読み、操作の方法のイメージをもったり、結果を予想してみたりしましょう。



2 レベル別学習法

【初級編】

『復習』 授業で書いたノートや教科書を見て、大事なところをもう一度書きましょう。

【中級編】

『予習』 予習として教科書を読み、実験・観察の方法と手順を確認しよう。

『復習』 (1) 理科のワークを進める。分からないことはよく確認し、簡単にまとめましょう。

- (2) インターネットの環境が整っていればNHK for school 等の動画を見て、内容の理解に努めましょう。

【上級編】

『予習』 (1) 予習として教科書を読み、実験・観察の方法と手順、学習のねらいをノートにまとめましょう。

- (2) インターネットの環境が整っている家庭ではNHK for school 等の動画を見て、内容の理解を深めましょう。
- (3) テレビなどでも教育チャンネル等を活用し、幅の広い教養を身に付けましょう。

『復習』 (1) 理科の学習等の問題をたくさん解きましょう。

- (2) 自分で購入した問題集などを使って、いろいろな問題を解くことで応用力を身に付けましょう。

